

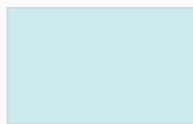
グループ機能とユーザー権限 (管理者様向け)

スペース全体に適用する設定 × グループ毎の設定を
組み合わせることで柔軟な運用が可能です。

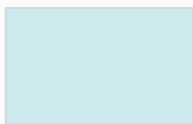


スペース

グループ



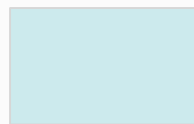
営業部



開発部



経営企画部



DX推進部



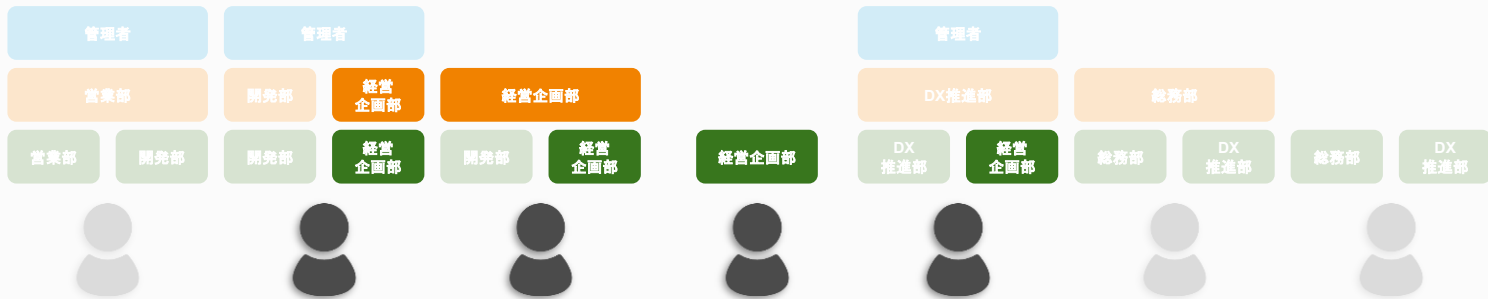
総務部

スペースの
管理者権限

各グループの
マネージャー権限

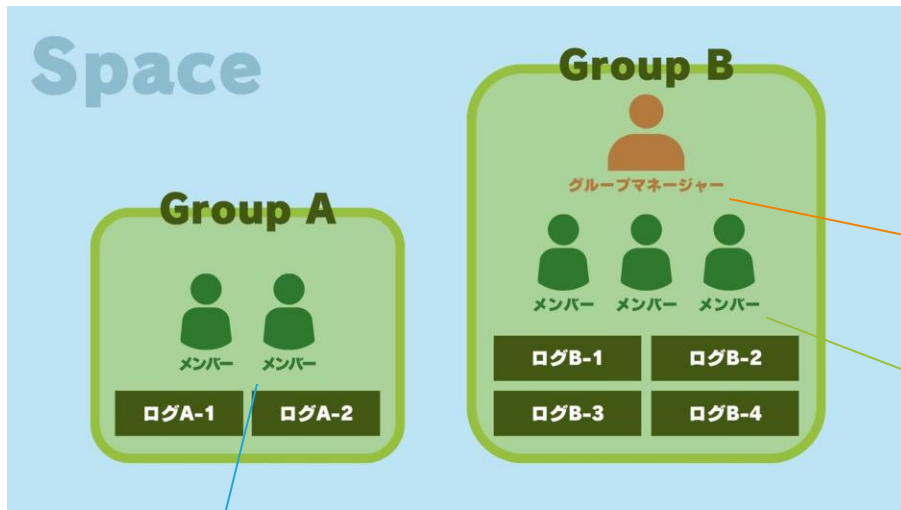
グループに参加
メンバー権限

ユーザー



グループ機能とは？

YOMELでは、1つの契約（スペース）内に属する全ユーザーを「グループ」という単位で分類できます



スペース内のユーザーをさらに細かく分類する単位がグループ。部署ごと、プロジェクトごとなど、目的に応じて自由に作成できます。

グループマネージャー

自分が所属するグループのメンバー管理や設定変更が可能

一般メンバー

自身が所属するグループでの操作が可能

ログをグループ単位で管理できるメリット

- グループごとに分類・管理することで情報の整理が簡単にできる
- グループに属するユーザーのみが対象ログを閲覧・操作できるため、機密性が保たれる

グループのアクセス制限

用途に応じてグループの「公開範囲」を選び、誰がどの情報にアクセスできるかを柔軟にコントロールできます



パブリックグループ

誰でも存在を確認できるオープンなグループ。
部署間共有などに最適。

例) 部門内での情報共有、プロジェクト単位での記録管理



シークレットグループ

グループの存在自体が非公開。
機密プロジェクトや経営層の会議ログなどに適しています。

例) 役員会議などの機密性の高い議事録、特定メンバー間での情報共有



プライベートモード

ログを作成したユーザー本人のみが閲覧可能。
他人に閲覧されたくない内容を含む会話を行う時に最適。
※スペース設定から録音不可へ変更することも可能です。

さらに細かい設定も可能

閲覧権限 設定

議事録の閲覧可能範囲を「グループ全体」「特定メンバーのみ」など柔軟に設定できます。グループ内でも情報の機密性に応じた管理が可能です。

※特定メンバー：録音したユーザー/グループマネージャー/管理者

公開期間 設定

※詳細ログから
公開URLを発行

議事録の公開期間を設定し、特定の期間後は自動的に非公開にすることも可能です。時限的な情報共有にご活用いただけます。

グループの運用例



組織図ベース

部署・チーム単位



プロジェクトベース

案件・目的単位

※タグ・ステータス設定

タグやステータスを登録しログに付与することで、グループ内のログを検索する際に、絞り込み検索が可能となります。

ログ内容の分類や進捗状況などの確認が容易になります。



ユーザー管理：CSV一括更新が便利！

利用状況：グループ毎の利用上限時間設定も可能です。